

都市再生整備計画 事後評価シート 金沢南部地区

令和8年3月

石川県 金沢市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	金沢市		地区名	金沢南部地区				面積	8ha		
交付期間	令和元年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	843.3百万円		国費率	0.5				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名												
		基幹事業	一級幹線6号十一屋・有松線道路整備工事、(仮)泉が丘おあしす公園、泉野福祉健康センター											
		提案事業	なし											
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	泉野第二児童公園					他の支援制度を活用して実施することとなったため、令和5年に計画変更して削除				影響なし		
		提案事業	なし					-				-		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし					-				-		
		提案事業	なし					-				-		
	交付期間の変更	当初	令和元年度～令和5年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	誘導施設である泉野福祉健康センターの建設工事が遅れたことにより、泉野おあしす広場整備予定地の旧泉野健康福祉センター解体工事が着手出来ず、測量・設計および公園整備が遅れるので、交付期間を1年延長するもの。当初、泉野福祉健康センター建設事業で予定していた旧泉野福祉健康センター解体工事を公園事業で実施したため、事業内容や費用の変更は発生したが、解体工事を別の事業へ振り替えただけであることから、指標への影響は生じない。							
		変更	令和元年度～令和6年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	周辺居住誘導区域内人口の社会動態 ()内は、自然動態による増減も含めた数	人/年	平均 △20 (+18)	H28～29	平均 +5	R6	モニタリング	評価値	×	あり		住民記録システムの変更に伴い、町丁別社会動態人口の抽出が不可となったため、自然動態も含めた住民基本台帳人口の増減で算定する。評価対象とした泉野6丁目においては、人口減少傾向を改善するには至らなかったものの、泉野福祉健康センターの移転先である泉が丘1丁目の人口は増加している。	-
											なし	●		
	指標2	施設利用者数増 ()内は、障害者医療費助成制度申請分を除いた数	人/年	35,000 (30,800)	H29	38,500 (34,300)	R6	-	34,128	△	あり		障害者医療費助成制度の窓口申請手続きが不要となり、窓口利用者が減少した影響もあって目標値の達成には至らなかったが、これを除外すると、施設利用者は増加している。	-
											なし	●		
	指標3	公園の利用者数増	人/月	平均 2,000	H29	平均 3,000	R6	-	平均 2,208	△	あり		公園利用者は目標値の達成に至らなかったが、泉野おあしす広場の整備に伴い、利用者は増加している。	-
											なし	●		

	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 （総合所見）	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
3)その他の数値指標 （当初設定した数値 目標以外の指標）に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	泉が丘1丁目人口	人	1,367	H29		-	1,406			泉野福祉健康センターが整備された泉が丘1丁目では、良好な住環境が好まれて人口が増加している。	-	
	その他の 数値指標2	通所リハビリテーション 介護保険サービス 利用件数	件/年	21,729	H29		-	18,842			泉野福祉健康センターの整備による介護予防活動（フレイル予防事業）拠点が形成されたことにより、地域の介護予防・健康が増進され、通所リハビリテーション介護保険サービスの利用件数が減少してきている。	-	
	その他の 数値指標3	泉野おあしす広場内 まちのりポート利用回数 （4～12月）	回/年	0	H29		-	8,180			泉野おあしす広場の整備にあわせて広場内に設置されたまちのりポートの利用が進んでおり、当該地区へのアクセス環境が向上している。	-	
4)定性的な効果 発現状況	・介護予防活動（フレイル予防事業）の拠点が整備された。 ・泉野健康福祉センターは災害備蓄倉庫に医薬品等を保管するほか、停電に備えて非常用発電機を設置しており、災害発生時における医療救護活動の拠点が整備された。 ・泉野健康福祉センターに地下駐車場が設けられたことで、利用者が雨雪などを気にせずに施設に出入り可能となり、アクセスの利便性、快適性が向上した。												
5)実施過程の評価		実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	官民連携による 取組	町会ごとの意見交換会の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●公園事業の実施にあたっては、引き続き市民との意見交換を行った上で、計画に反映させていくよう努める。			
						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●施設の運営にあたっては、今後とも官民が連携し、質の高いサービス提供に努めていく。			
		持続的なまちづくり 体制の構築	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		

様式2-2 地区の概要

金沢南部地区(石川県金沢市) 都市構造再編集集中支援事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 南部地区における介護予防の拠点として都市機能を向上し、健康で質の高い居住環境を構築 目標1: 介護予防・健康増進に資する拠点施設を構築 目標2: 良好でゆとりある住環境の整備 目標3: 「水」と「緑」を活かしたまちづくりの推進		周辺居住誘導区域内人口の社会動態 ()内は、自然動態による増減も含めた数	人/年	平均 Δ20 (+18)	H28~29	平均 +5	R6	Δ22	R6
		施設利用者数増 ()内は障害者医療費助成制度申請分を除いた	人/年	35,000 (30,800)	H29	38,500 (34,300)	R6	34,128	R6
		公園の利用者数増	人/月	平均 2,000	H29	平均 3,000	R6	平均 2,208	R7
まちの課題の変化		・泉野おあしす広場とその前面道路(一級幹線6号十一屋・有松線)や泉野福祉健康センターが整備されたことにより、地域住民の回遊性や地域のにぎわいが向上したとともに、世代間交流の場が創出された。 ・泉野福祉健康センターや泉野おあしす広場が整備されたことにより、地域住民の健康な生活環境の向上が図られた。							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		・整備された泉野福祉健康センターや泉野おあしす広場の周知による利用促進を図っていくとともに、施設の適切な維持管理に努めていくほか、泉野福祉健康センターで提供されるサービスの向上に努めていく。							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 官民連携による取組の実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－② まちの課題の変化
- 添付様式5－③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	-	-	-
B. 目標を定量化する指標		●	-	-	-
C. 目標値		●	-	-	-
D. その他(計画期間)	●		令和元年度～令和5年度	令和元年度～令和6年度	泉野福祉健康センター整備の遅れに伴い、泉野おあしす広場整備予定地での旧泉野福祉健康センター解体工事に着手できず、公園整備が1年遅れたため

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	一級幹線6号 十一屋・有松線道路整備工事	50.0	L=200m	1.0	L=40m	事業内容の見直しに伴う事業費減	影響なし	●	
公園	(仮) 泉が丘おあしす公園	86.0	A=2,700㎡	317.5	A=2,700㎡	解体工事の追加及びアスベスト除去対策に伴う事業費増	影響なし	●	
	泉野第二児童公園	10.0	A=525㎡	-	-	他の支援制度を活用して実施することとなったため、令和5年に計画変更して削除	影響なし	-	-
誘導施設	泉野福祉健康センター	827.0	A=4,500㎡	524.8	A=4,500㎡	解体工事の除外に伴う事業費減	影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
泉野図書館		-	30.0	30.0	令和4年度～令和5年度	令和4年度～令和5年度	事業完了済	—
泉野第二児童公園		-	10.0	10.0	令和5年度	令和6年度	令和6年度末から供用済	—

添付様式2ー① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
		単位			基準 年度		基準 年度		目標 年度							
指標1	周辺居住誘導区域内 人口の社会動態	人/年	計測時期:令和7年10月 実施主体:都市計画課 対象:計画区域周辺居住誘導区 域内住民 具体的手法等:住民基本台帳を 基に泉野町6丁目における令和 6年度の人口増減数※を確認 し、評価値(確定値)とする。 ※ システム変更に伴い、町丁別社 会動態人口の抽出が不可となった ため、自然動態も含めた住民基本 台帳人口の増減で算定	-	-	平均 △20 (+18) ()内は自 然動態によ る増減も含 めた数	H28～ H29	平均 +5	R6	モニタリング		—	モニタリング	—		●
										事後評価	確定 ●	△22	事後評価	×		
										見込み						
指標2	施設利用者数増	人/年	計測時期:令和7年10月 実施主体:泉野福祉健康セン ター 対象:泉野福祉健康センター利 用者 具体的手法等:令和6年の泉野 福祉健康センターの利用者数※ を集計して評価値(確定値)とす る。 ※ 障害者医療費助成制度の申請 方法変更(約4,200件/年)による影 響(利用者数減)あり	-	-	35,000 (30,800) ()内は障 害者医療費 助成制度申 請分を除い た数	H29	38,500 (34,300) ()内は障害 者医療費助 成制度申請 分を除いた 数	R6	モニタリング		—	モニタリング	—		●
										事後評価	確定 ●	34,128	事後評価	△		
										見込み						
指標3	公園の利用者数増	人/月	計測時期:令和7年10月 実施主体:緑と花の課 対象:泉野おあしす広場利用者 具体的手法等:令和7年10月に スポーツ事業団が泉野おあしす 広場で観測した平日及び休日 の利用者を1か月あたりに換算 して評価値(確定値)とする。(な お、従前値は移転整備前の旧 「泉が丘おあしす広場」の利用 者数とする。)	-	-	平均 2,000	H29	平均 3,000	R6	モニタリング		—	モニタリング	—		●
										事後評価	確定 ●	平均 2,208	事後評価	△		
										見込み						

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	住民基本台帳データ集計システムの変更により、町丁別単位で社会増減数を算出することができなくなったが、泉野6丁目における令和6年度初め時点の人口(710人)と年度終わり時点の人口(688人)を比較すると22人減少していることから、社会増減も目標を達成していないと判断した。	市民課の住民記録システムの変更により、町丁別の社会動態人口の抽出が不可となったため、社会増減数の評価値が算出できず、住民基本台帳人口の増減で評価せざるを得なかった。
指標2	障害者医療費助成制度の申請方法の変更(約4,200件/年)による影響を除外すると、平成29年の利用者数(30,800人)に対し、令和6年の利用者数(34,128人)は3,000人以上増加しており、数値目標には至っていないが、一定の目標は達成されていると判断した。	障害者医療費助成制度の窓口申請手続きが不要となり、窓口利用者数が大きく減少(年間4,200件程度)したため、その影響を除外して利用者数を評価した。
指標3	数値目標には至っていないが、平成29年度の利用者数(平均2,000人/月)に対し、令和7年度の利用者数は平均2,208人/月と増加しており、一定の目標は達成されていると判断した。	公園利用者数は、天候等の条件によって大きく左右されるため、観測日の調整が課題となる。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。
※2 目標達成度の記入方法
○:評価値が目標値を上回った場合
△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
		単位			基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	泉が丘1丁目人口	人	住民基本台帳を基に泉が丘1丁 目の人口を確認して評価値とす る。	-	-	1,367	H29	モニタリング		-	泉野おあしす広場が整備された泉 野6丁目の人口は減少したもの の、泉野福祉健康センターが整備 された泉が丘1丁目の人口は増 加している。	指標1「周辺居住誘導区域内 人口の社会動態」を補完し て、目標2:「良好でゆとりある 住環境の整備」の観点から評 価する。
								事後評価	確定	●		
								見込み		1,406		
その他の 数値指標2	通所リハビリテーション 介護保険サービス利用 件数	件/年	金沢市統計書(介護保険課資 料)に基づき、市内での通所リ ハビリテーション介護保険サー ビス利用件数を確認して評価値 とする。	-	-	21,729	H29	モニタリング		-	泉野福祉健康センター利用者数 は目標値に至らなかったものの、 市内での通所リハビリテーション 介護保険サービス利用件数は減 少傾向にある。	指標2「施設利用者数増」を補 完して、目標1:「介護予防・健 康増進に資する拠点施設を 構築」の観点から評価する。
								事後評価	確定	●		
								見込み		18,842		
その他の 数値指標3	泉野おあしす広場内 まちのレポート利用回数 (4～12月)	回/年	泉野おあしす広場内に設置され たまちのレポートの利用者数(令 和7年4月～12月まで)を確認 し、評価値とする。	-	-	0	H29	モニタリング		-	泉野おあしす広場の利用者数は 目標値に至らなかったものの、広 場内に設置されたまちのレポート の利用が進んでおり、当該地区へ のアクセス環境が向上している。	指標3「公園の利用者数増」を 補完して、目標3:「水」と 「緑」を活かしたまちづくりの 推進」の観点から評価する。
								事後評価	確定	●		
								見込み		8,180		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・介護予防活動(フレイル予防事業)の拠点が整備された。
- ・泉野福祉健康センターは、災害備蓄倉庫に医薬品等を保管するほか、停電に備えて非常用発電機を設置しており、災害発生時における医療救護活動の拠点が整備された。
- ・泉野福祉健康センターに地下駐車場が設けられたことで、利用者が雨雪などを気にせずに施設に出入り可能となり、アクセスの利便性、快適性が向上した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3ー① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3ー② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
町会ごとの意見交換会の開催	予定どおり実施した	「夢ある公園再生・利活用計画(泉野地区)」策定時に、各公園で実現したいことについて町会ごとに意見を出し合って決定し、泉野おあしす広場の整備内容に反映させている。	公園事業の実施にあたっては、引き続き市民との意見交換を行った上で、計画に反映させていくよう努める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
民間ノウハウの活用	予定どおり実施した	泉野福祉健康センター内に設けられた健康スタジオ(フレイル予防ルーム)の運営を金沢健康福祉財団に委託し、民間ノウハウを活かした事業を展開している。 (延べ利用者数) 令和4年度:960人 令和5年度:1,615人 令和6年度:2,050人	施設の運営にあたっては、今後とも官民が連携し、質の高いサービス提供に努めていく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した		—	—	—
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (都市再生整備計画事後評価検討チーム)	都市計画課、泉野福祉健康センター、緑と花の課	令和8年1月(予定)	都市計画課 (都市構造再編集集中支援事業主管課)

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		その他指標1		その他指標2		その他指標3			
指 標 名		泉が丘1丁目の人口		通所リハビリテーション 介護保険サービス利用件数		泉野おあしす広場内 まちのリポート利用回数			
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	一級幹線6号十一屋・有松線道路整備工事	○	泉野福祉健康センター が整備された泉が丘1 丁目では、良好な住環 境が好まれて人口が 増加している。	-	泉野福祉健康センター で開催する健康教室の 周知・利用促進(チラシ 配布やHP等)により、 利用者数が増加し、地 域の介護予防・健康が 増進され、通所リハビリ テーション介護保険 サービスの利用件数が 減少してきている。	-	泉野おあしす広場の整 備にあわせて広場内に 設置されたまちのリ ポートの利用が進んで おり、当該地区へのア クセス環境が向上して いる。		
	(仮)泉が丘おあしす公園	○		-		◎			
	南部地区健康プラザ(泉野福祉健康センター)	○		◎		○			
提案事業									
関連事業	泉野図書館	○		-		○			
	泉野第二児童公園	○		-		○			

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に
貢献しなかった。
-：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確
なので、評価できない。

今後の活用	良好な住環境が整った地区とし て、引き続き、居住の誘導を 図っていく。	泉野福祉健康センターでの介 護予防活動を通じて、将来的な 要介護認定者数の抑制に努め ていく。	今後の利用動向を注視してい くとともに、引き続き、利用促進を 図っていく。	
-------	---	--	---	--

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			指標3					
指 標 名		周辺居住誘導区域内人口の社会動態			施設利用者数増			公園の利用者数増					
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
	一級幹線6号十一屋・有松線道路整備工事	△	評価対象とした泉野6丁目においては、人口減少傾向を改善するには至らなかったものの、泉野福祉健康センターの移転先である泉が丘1丁目の人口は増加している。	Ⅰ	－	障害者医療費助成制度の窓口申請手続きが不要となり、窓口利用者が減少した影響もあって目標値の達成には至らなかったが、これを除外すると、施設利用者は増加している。	Ⅲ	△	公園利用者数は目標値の達成に至らなかったが、泉野おあしす広場の整備に伴い、利用者は増加している。	Ⅰ			
	(仮) 泉が丘おあしす公園	△			－			△					
	南部地区健康プラザ(泉野福祉健康センター)	△			△			△					
提案事業													
関連事業	泉野図書館	△			－			△					
	泉野第二児童公園	△			－			△					

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	今後の人口動態の変動状況を注視しつつ、良好な住環境が整った地区として居住の誘導を図っていく。	今後の施設利用者数の推移を注視していくとともに、施設の周知、提供サービスの向上に努めていく。	今後の公園利用状況を注視していくとともに、公園の周知、利用促進に努めていく。	

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (都市再生整備計画事後評価検討チーム)	都市計画課、泉野福祉健康センター、緑と花の課	令和8年1月予定	都市計画課 (都市構造再編集集中支援事業主管課)

添付様式5－② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
地域住民の回遊性、地域の にぎわい、世代間交流の低下	・泉野おあしす広場とその前面道路(一級幹線6号十一 屋・有松線)や泉野福祉健康センターが整備されたこと により、地域住民の回遊性や地域のにぎわいが向上したと ともに、世代間交流の場が創出された。	—	—
地域住民の健康な生活環境 の向上	・泉野福祉健康センターや泉野おあしす広場が整備され たことにより、地域住民の健康な生活環境の向上が図ら れた。	—	—

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策
を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を
添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	回遊性、賑わい、世代間交流の向上	・整備された泉野福祉健康センターや泉野おあしす広場の周知による利用促進を図っていくとともに、施設の適切な維持管理に努めていく。	・整備施設の周知(案内板増設等)と利用促進 ・整備施設の適切な維持管理
	健康な生活環境の向上	・整備された泉野福祉健康センターや泉野おあしす広場の周知による利用促進を図っていくとともに、泉野福祉健康センターで提供されるサービスの向上に努めていく。	・整備施設の周知(案内板増設等)と利用促進【再掲】 ・泉野福祉健康センターにおける提供サービスの向上

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4ー②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4ー③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5ー②)を再確認した。

なし

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値			目標 達成度	1年以内の 達成見込みの有無		フォローアップ計画			
				年度		年度								予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	周辺居住誘導 区域内人口の 社会動態	人/年	平均 △20 (+18)	H28～ H29	平均 +5	R6	確定	●	△22	×	あり		→	—	—	—
							見込み				なし	●				
指標2	施設利用者数増 ()内は障害者医療費 助成制度申請分を除 いた数	人/年	35,000 (30,800)	H29	38,500 (34,300)	R6	確定	●	34,128	△	あり		→	—	—	—
							見込み				なし	●				
指標3	公園の 利用者数増	人/月	平均 2,000	H29	平均 3,000	R6	確定	●	平均 2,208	△	あり		→	—	—	—
							見込み				なし	●				
その他の 数値指標1	泉が丘1丁目 人口	人	1,367	H29			確定	●	1,406				→	—	—	—
							見込み									
その他の 数値指標2	通所リハビリ テーション介護 保険サービス利用 件数	件/年	21,729	H29			確定	●	18,842				→	—	—	—
							見込み									
その他の 数値指標3	泉野おあしす広 場内まちのり ポート利用回数 (4～12月)	回/年	0	H29			確定	●	8,180				→	—	—	—
							見込み									

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	・現在の住民記録システムでは、町丁単位の社会動態を把握できないことに留意が必要である。 ・成果を適切に評価できるよう、指標の対象や範囲を適切に設定する必要がある。 ・目標値は一定の根拠に基づいて設定し、その記録を保管しておくことが重要である。
	うまくいかなかった点	・指標1「周辺居住誘導区域内人口の社会動態」について、住民記録システムの変更に伴い、町丁単位での評価値算出ができなかった。 ・指標1「周辺居住誘導区域内人口の社会動態」について、評価対象を泉野6丁目のみとした理由が不明確である。 ・指標3「公園の利用者数増加」について、目標値の設定が高すぎるきらいがあった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	・成果を適切に評価できるよう、指標の対象や範囲を適切に設定する必要がある。
	うまくいかなかった点	・指標2「施設利用者数増」について、今後、デジタル化等により減少が見込まれる窓口での申請者数ではなく、施設が主催する健康教室等の参加者数を指標とすべきだった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	—	
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事後評価を実施したことにより、一連の事業実施効果が数値として明らかとなり、残された課題や効果の持続を図るべき事項が明確となった。	一連の事業実施にあたって、目標及びこれを数値化する適切な指標を設定し、事業の実施過程及び実施後にこれをチェックしながら今後のまちづくりに活かすことは、まちづくりを計画的、継続的に進める上で有効なシステムである。
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	
	うまくいかなかった点	—	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

【今後の都市再生整備計画事業の活用予定】 金沢中央地区（第5期）
【事後評価を予定している地区】 金沢中央地区（第4期）（令和8年度予定）

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページへ掲載	令和8年3月10日～ 令和8年3月16日	令和8年3月10日～ 令和8年3月16日	担当課へのFAX、電子メール	都市計画課 （都市構造再編集集中 支援事業主管課）
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市計画課窓口での閲覧	令和8年3月10日～ 令和8年3月16日	令和8年3月10日～ 令和8年3月16日		
住民の意見	特になし				

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	馬場先 恵子：金沢学院大学 名誉教授 丸谷 耕太：金沢大学 准教授 柳井 清治：石川県立大学 特任教授	令和8年3月13日	都市計画課 (都市構造再編集集中支援 事業主管課)	金沢市社会資本総合 整備計画等評価委員会 設置要綱の制定による 設置	金沢市社会資本総合 整備計画等評価委員会
その他の委員	上田 久美子：金沢市校下婦人会連絡協議会 副会長 中川 一成：金沢市町会連合会 会長 松原 繁光：一般社団法人金沢経済同友会 理事				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	特になし。
	成果の評価	・指標2「施設利用者数増」について、窓口での申請者数ではなく、施設が主催する健康教室等の参加者数の方が指標として適しているとの意見があった。⇒今後の計画策定の際は、成果を適切に評価できる指標を設定するよう留意する。 ・指標3「公園の利用者数増」について、従前値はどこの公園の利用者数を採用しているのかとの意見があった。⇒従前値は移転整備前の旧「泉が丘おあしす広場」の利用者数としたと答弁。
	実施過程の評価	・泉野おあしす広場の整備コンセプトはどのようなものかとの意見があった。 ⇒周辺の泉野第1～第5公園と泉野おあしす公園はそれぞれ地域の中でコンセプト付けされており、その中で泉野おあしす広場は、芝生広場、健康器具等を設けた健康と安らぎをコンセプトとした公園であると答弁。
	効果発現要因の整理	妥当である。
	事後評価原案の公表の妥当性	妥当である。
	その他	・泉野おあしす公園をどのように周知しているかとの意見があった。 ⇒「夢ある公園再生・利活用計画(泉野地区)」のコンセプトを記した看板を泉野おあしす広場、泉野第1～第5公園に設置しており、今後は市HP等での周知も予定している。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	特になし。
	フォローアップ	特になし。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他		特になし。

※1 審議事項の詳細は「都市再生整備計画事業評価委員会チェックシート」を参考にしてください。